

教一致ノ狂言モチ非ルヘカラス、不學ノイタリナリ、

トハ、黎昌トハ、參本イハク、天台三大部從義補注三十四日、離車、經律異相、翻爲皮薄、又云、同皮、諸文亦言、黎昌、亦曰彌離車、亦言隨耶利、亦言隨舍利、亦言隨舍種、亦言律車、又言栗唱、又言彌戾車、又言戾戾車、又言難帖、昌、婆、此云、仙族王種、又云、邊地主、又云、傳集國政、其國義讓、五百長者、遞爲國主、故云、傳集國政、罷政出外、爲邊地主、又云、邊夷無所知者、上立應衆經音廿二十三、瑜伽論音、戾戾車、莫詰反、下、力計反、音、彌戾車、此云、樂垢穢人、此等全、不識佛法也、上、華嚴經疏鈔十四、云、戾戾車者、三藏云、惡中惡、亦云、奴中奴、皆義翻耳、上、慧沼疏、金光明最勝王經壽量品、引文ハ、參本イハク、大論第八、引三、大同小異、宗祖簡記、差耳、餘文シルベシ、

正法眼藏四禪比丘

建長七年乙卯夏安居日以御草案本書寫畢 懷奘

正法眼藏唯佛與佛

佛法ハ、人ノシルヘキニハアラス、コノユエニムカシヨリ凡夫トシテ佛法ヲサトルナシ、二乗トシテ佛法ヲキハムルナシ、ヒトリ佛ニサトラルルユエニ唯佛與佛、乃能究盡トイフ、

トハ、參本イハク、下至、本來面目也、一齊序文、就中此箇三十七字、本卷宗本、而佛法淵底也、凡諸錄中云、打斷情識計較者、是ト唯佛與佛ナルカニヘニ、人ノシルヘキニアラヌナリ、凡夫二乗、イカデカソノ邊際ヲキハムルコトアラシク佛法ハ、ヒトリ佛ニサトラルルノミナリ、

ソレチキハメサトルトキ、ワレナカラモカチテヨリサトリトハカクソアラメトオモハルルコトハナキナリ、タトヒオボユレトモソノオボユルニタカハヌサトリニテナキナリ、サトリモオボエシカユトクニテモナシ、
トハ、ワレトサトリト、能所ニアラザルガユヘニ、カクコソアラメト、オモハルルコトナキナリ、オボユルトハ、サトリハコノヤウナモノナリト、

オノガ情ニノセテミルタイフ「タトヒカクコソアラメトヲホユルコト
アルモ、ソレガスナハチソノコトニテアレバ、オホユルニダガハヌサト
リニテナキナリ」情識ニウツレル、サトリノ影像ナキタイフ「サトリモ、オ
ホエシガコトキニテモナシトハ、能所互ニ影象ニアラザルヲ、ウチカヘ
シタイフノミ」唯佛與佛ノユヘニシカリ、

カクアレハ、カチテオモフソノ用ニタツヘキニアラス、サトリヌル
ナリハ、イカニアリケルユエニ、サトリタリトオホエヌナリ、

トハ、カチテオモヒモホクシコトノ、トドマラザルヲ、用ニタタヌトイ
フナリ「サトリノトキハ、サトリノ全界ナルヲモテ、イカニアリケルユヘ
ニ、サトリタリトハオホエヌナリ、上ニ所謂、窮^レ悟^ル、サトリトハカクコソア
ラメトオモハルルコトナシトイヘルト、同意ナリ、參本ノ釋、鑿セルニ似
タリ、

ユレニテカヘリミルヘシ、サトリヨリサキニトカクオモヒケルハ、
サトリノ用ニアラヌト、サキノサマサマオモフ、オモヒノヤウニア

ラサリケルハ、オモヒノマコトニアシクテ、ソノチカラノナキニテ
ハナシ、ユシカタノオモヒモサナカラサトリニテアリケルヲ、ソノ
ナリハ、サカサマニセントシケルユエニ、チカラノナキトハオモヒ
モイヒモスルナリ、

トハ、サトリノ用ニアラヌトハ、サトリトナリヌルノユヘニ、思惟分別
ニアラサルナリ、イハユル心行處滅ナリ「コソカタノチモヒノサナカラ
サトリニテアリケルユヘニ、オモヒノヤフニアラサルナリ、ソノチカラ
ノナキニハアラサルナリ」ソノオリトハ、以前ノ顛倒妄情ノトキチサス
ナリ「サカサマハ、顛倒ナリ」サナカラサトリニテアリケルヲ、顛倒ノ妄情
ニヨリテ、チカラナシト、チモヒモシ、イヒモスルナリ、

用ニアラストオボユルユトハシルヘキトコロカナラスアリ、イハ
ユルチヒサクハナラシトオソレケル、モシサトリヨリサキノオモ
ヒチチカラトシテ、サトリノイテコンハ、タノモシカラヌサトリニ
テアリヌヘシ、

トハ 用ニアラストオボユルトハ、サトリトハ、カクコソアラメト、オモ
 ハルルコトハナキニ、用ニアラストオボユル、妄情ノ、コレルヲイフナ
 リ、コレ大小即離ニ我ヲ計スル外計ナリ「チイサクハナラサトオソルル
 ハ、大ナリトテモヘルナリ、コレ一物ヲオキテ、トヤカクト、オモヘル偏邪
 ノ見ナリ、ユヘニ下ニ、タノモシカラヌサトリト斥スルナリ」サトリヨリ
 サキノオモヒノカタマリアリテ、ソレヲチナミトシテ、サトリノイデコ
 ヌハ、邪計ナルヲモテ、タノモシカラヌサトリトイフナリ、
 サトリヨリサキニチカラトセス、ハルカニコエテキタレルユエニ、
 サトリトハヒトスチニサトリノチカラニ、ノミダスケラル、マトヒ
 ハナキモノソトモシルヘシ、サトリハナキコトソトモシルヘシ、
 トハ サトリヨリサキニ、チカラトセストハ、サトリヨリサキノ、ヲモヒ
 テチカラトセサルナリ「前後際断超越ノユヘニ、ヒトスチニ、サトリノチ
 カラノミ、現成スルナリ」コトヲモテ迷ナク、悟ナシトイヘリ、背觸俱ノ大
 火聚ナリ「參本イハク、純一無雜、不犯、宗也、故道、可知等、ト」

無上菩提ノ人ニテアルナリ、コレヲホトケトイフ、ホトケノ無上菩
 提ニテアルトキ、コレヲ無上菩提トイフ、

トハ 迷悟トモニ非ナルカニヘニ、人境トモニ不染汚ナルナリ「菩提ハ
 境ナリ、佛陀ハ人ナリ」

コノ道ニアルトキノ面目シラサランハ、オロカナリヌヘシ、イハユ
 ルソノ面目ハ、不染汚ナリ、不染汚トハ、趣向ナク取舍ナカラントシ
 ヒテイトナミ、趣向ニアラサラントコロツクロヒスルニハアラヌ
 ナリ、イカニモ趣向セラレス、取舍セラレヌ、不染汚ノアルナリ、

トハ 趣向サラニ平常ナルカニヘニ、趣向セラレス、取舍サキヨリ脱落
 ナルカニヘニ、取舍セラレザルナリ、アニ不染汚ニアラサランヤ、

タトヘハ人ニアフニ面目ノイカヤウナルトオホエ、又華ニモ月ニ
 モイマヒトツノ光色ヲオモヒカサチ、又春ハタタ春ナカラノユ
 ロ、秋モマタ秋ナカラノ美悪ニテ、ノカルヘキニアラヌチ、ワレニア
 ラサラントスルニハ、ワレナルニテオモヒシルヘシ、コノハルア

トコロ
 一本作
 トコロ
 口ヲ

キノユエワレナラントスルニモ、ワレニアラサルニテモカヘリミ
ルヘシ、ワレニツモレルニテモナシ、イマモワレニアルオモヒニテ
モナキナリ、

トハ、コレ趣向セラレズ、取捨セラレズ、不染汚ナルニ、トヤカク、ト、情謂
ニワタルヲタトユルナリ」人ニアフニ、某ノ面目ハユノヤウ、誰ノ面目ハ
アノヤウト、目前ノ境ニ差別ヲミルナリ」マタタトヘバ、花ニモ月ニモ、梅
ノ華ノ上ニモ、紅梅白梅、八重一重ナトオモヒカサチ、月ノ上ニモ、クマナ
クスゴキアリ、オボロ都機アリナトオモヒカサヌルナリ」マタタトヘハ、
春ハタダ春ノママノ心、秋ハタダ秋ノママノ心ニテ、ナホザリニシテ心
ヲトメザルナリ」上ノ華月、下春秋、華月ハ、ユマカニ境ニワタリ、春秋ハ、ア
ラク境ニワタルナリ」ユノ三譬ノカルベカラザル、不染汚面目ナルヲ、ワ
レニアラザル佗物トスルナリ」ワレナルニテモオモヒシルヘシトハ、ワ
レニアラサラヌトスルトキ、ワカ身ノ上ニヒキウケテオモヒシルヘシ
トナリ」ソノシルヘキヤウハ、ユノハルアキノユエ、ワレナルカ、ワレニア

ラザルカ、ト、ヲモフトキ、カヘリミルベシ、ソノヲモヒノヒサシク、ワレニ
委積シテアルニモアラス」マタイマハワメテアルニテモナキナリ、
ソノユエロハ、イマノ四大五蘊、オノオノワレトスヘキニテモアラ
ス、タレトタドルヘカラス、シカアレハ華月ノモヨホス心ノイロ、マ
タ我トスヘキニアラヌヲワレトオモフ、ワレニアラヌヲワレトオ
モフモ、サモアラハアレ、ソムクヘキカタノイロモ、オモムクヘキカ
タノソメラレヌヘキモナシトテラストキ、オノツカラ道ニアル行
履モカクレサリケル本來ノ面目ナリ、

トハ、四大五蘊眞實人體ナルカユヘニ、ワレニアラス、タレニアラサル
ナリ」華月ノモヨホス心ノイロトハ、華月ノ光色ニ、モロフサレテ心ノ動
クタイフナリ」ユノ心ノ動クテ、ワレト、トドムルハ外計ナリ、ユヘニワレ
ニアラヌヲ、ワレトヲモフトイヘリ」サモアラハアレハ、カマハザルナリ、
オコル妄念ヲ相手ドルユヘニ妄想トナルナリ、起滅紛紛は何物ナリ」
ユコチモテ向背ナク、趣向スベキ染汚モナシ、返照スルトキ、ヨノツチノ

行履モ、ミナ道ニアリテカクレザリケル、本來ノ面目ナルナリ、參本イハク、照時者回向返照也ト

フルキ人ノイハク、盡大地コレ自己ノ法身ニテアレトモ、法身ニサヘラレサルヘシ、モシ法身ニサヘラレヌルニハ、イササカ身ヲ轉セントスルニモカナハス、出身ノ道アルヘシ、イカナルカコレ諸人ノ出身ノ道ト、モシユノ出身ノミチナイハサランモノハ、法身ノイノチモタチマチニタエテ、ナカク苦海ニシツミヌヘシ、カクノコトクト、ハンニ、イカニトイハンカ、法身ヲモイケ、苦海ニモシツマサルヘキト、ユノトキイフヘシ、盡大地自己ノ法身ナリト、モシユノ道理ニテアラン、盡大地自己ノ法身トイフナリハ、イハレヌ、マタイハレサラントキ、フツトイハヌトヤコヨロウヘキ、イハヌ古佛ノイヘルコトアリ、死ノナカニイケルコトアリ、イケルナカニ死セルコトアリ、死セルカツチニ死セルアリ、イケルカツチニイケルアリ、コレ人ノシヒテシカアラシムルニアラス、法ノカクノコトクナルナリ、

トハ、盡大地法身ナルガニヘニ、サヘラレサルナリ「サヘラレヌルニハ、轉身スベカラサルコト明カナリ」レカアレバ出身ノ道アルヘシ、イカナルカコレ諸人ノ出身ノ道ト、スミヤカニイヘ、スミヤカニイヘ「出身ノ道ハ、左右逢源ノユヘニ、イハザランモノコレナリ」法身ノイノチタチマチダヘ、ナガク苦海ニシツミヌベシ、法身ヲモイケ、苦海ニモシツマザルベシ、コレミナ出身ノ道ナリ、問處ニアラス、道得ナリトシルベシ「モシユノ道理ニテアラヌ、盡大地自己ノ法身トハ、モシユノ道理ニアラサル、盡大地自己ノ法身ナリ、ユヘニフツトイタヌトヤコヨロフヘキトイヘリ」イタヌ古佛ノイヘルトハ、タダ古佛道ナリ、上ノイハヌチ、ハタラカセル隨勢ノミ「死活ミナ一條拄杖ナリ、偏頗ノアルコトナシ、コレミナ人ノ強爲ニアラス、法ノ云爲ナリ」參本ニ、フツトテ絶焉ト釋セリ、
シカアレハ法輪ヲ轉スルナリモ、カクノコトクノヒカリアリ、コエアリ、現身度生ニモシカアリトシルヘシ、コレテ無生ノ知見トハイ

フ、

トハ 出身ノ道ノシカアルガゴトク、轉法輪ノトキモ、ヒカヲアリ、コエ
アリ、現身度生アリ、トモニカクノゴトクナラサルコトナシ「無生ノ知見
ハ、無分別法ナリ、

現身度生トハ、度生現身ニテアリケルナリ、度ニムカヒテ現ナダト
ラス、現ナミルニ度ヲアヤシムコトナカルヘシ、ユノ度ニ佛法ハキ
ハメツクセリトコロウヘシ、トクヘシ證スヘシ、現ニモ身ニモ度
ノコトクニアリケルトキクナリ、トクナリ、コレモ現身度生ノシカ
アラシメケルトナリ、

トハ 度ニムカヒテ現ヲトラストハ、度ノ外別ニ現ナキナリ、參本イハ
ク、度生現身者、感即應答、○悉是吾子、奈、不、現身ト「コノニヘニ現ナミルニ
度ヲアヤシマザルナリ」コノ度ニ佛法ハキハメツクセリトハ、度ノ究竟
窮極ナルヲモテ無別法ナリ、佛法ハ、諸法ナリ、不染汚トイフヘキノミ、參
本イハク、此、度、此、現、現、奈、不、度、以、此、有、佛法究竟盡言トトクヘシ、證スヘシ、キ

クナリ、トクナリミナコレ現身度生ナリ、

コノムチヲ證シケルニソ、得道ノアシタヨリ、涅槃ノユフヘニイタ
ルマテ、一字ヲモトカサリケルトモトカルル、コトハノ自在ナリケ
ル、古佛イハク、盡大地是眞實人體ナリ、盡大地是解脫門ナリ、盡大地
是毗盧一隻眼ナリ、盡大地是自己法身ナリ、

トハ コノムチヲ證シケルトハ、無生知見無量礙法ヲ證スルナリ「得道
涅槃說不說、コレミナ證上ノ三昧ナルヲモテ、コノムチヲ證シケルニモ、
得道ノアシタヨリ、涅槃ノユフヘニイタルマテ、一字ヲモトカザリケル
トモトカルルトイヘリ、參本イハク、此箇、五十有七言、是、即、道、不、道、說、不、說、
眞誠自在也、矣、不能嬰兒、不能語言、故言、自在焉、古佛言、句、或證此、至、自、在、焉、
斷句、恐、疎、說、不、說、宗、乘、自、在、如、一、佛、然、多、佛、亦、然、蓋、唯、佛、與、佛、耶、ト」參本ノ句
一理アルニ似タリトイヘトモ、頗ル奇ナルカゴトシ、上ノイハヌ古佛ノ
イヘルコトアリトイフ、證例ヨリカクハ註シケルトミヘタリ、シカアレ
トモ言バノ自在ナリケルニ、古佛イハクヲ引證ノ語勢トミル、可穩以下

貼文ナリ、

イハユルユコロハ眞實トハ、マコトノ身トナリ、盡大地ヲワレラカ
カリニアラサリケルマコトシキ身ニテアリケルトハシルヘシ、ヒ
ゴロハナニトシテカシラサリケルトトフ人アラハ、盡大地是眞實
人體トイヒツルユトナワレニカヘセトイフヘシ、マダ盡大地是眞
實人體トハ、カクノコトクシルトモイフヘシ、

トハ、盡大地コレヲレラカマコトノ身ナリ、一點ノ不實アルコトナシ
シルト、シラザルト、トモニコレ眞實人體ナリ、ユヘニワレニカヘセトイ
ヘリ、參本イハク、日時、不知、即眞實體、故道還我、猶言退步就己、其疑著外、無
有^レ道著^レ是^レ以^テ道^ヲ取^ル又^レ可^ク等^ク者^ト也^ト」

マダ盡大地是解脫門トハ、イカニモマツハレカカフルコトナキニ
ナツクルナリ、盡大地ノコトバハ、トキニモトシニモユコロニモユ
トハニモシタシクシテ、ヒマナク親密ナリ、カギリチク、ホトリナキ
チ、盡大地トイフヘキナリ、コノ解脫門ニイランコトナモトメ、イテ

ンコトナモトメンニ、マダウヘカラサルナリ、ナニトシテカクノコ
トクナル、發問チカヘリミルヘシ、アラヌトコロチタツチハヤトオ
モハンニモ、カナフヘカラサルモノナリ、

トハ、トキモ、トシモ、ココロモ、コトバモ、盡大地ナリ、ユヘニヒマナク、親
密ナリトイヘリ、カギリナク、ホトリナキコトシルヘシ「入モ出モ解脫門
ナルカユヘニ、ウベカラザルナリ」盡大地是解脫門ナルカユヘニ、解脫門
ニアラヌトコロチ、タヅチバヤトオモハンニ、カナフベカラサルナリ、參
本イハク、纏拘、經字、一本誤、誤、國字、以、作、天、晴、俗中、又俗、無、可、離、物、者、訂、數、本、
從、允、當、者、參、學、勿、訝、マタイハク、出也解脫門、入也解脫門、步步步、此門、此箇
一門、終無、有、内外中間涯岸邊際、設使、邊際涯岸、一一解脫、中央而已、隨邊了
也ト」

マダ盡大地ハコレ毗盧ノヒトツノマナコナリトハ、佛ハヒトツノ
マナコトイヘル、カナラスシモ人ノマナコノヤウニアランスルト
ハオモハサレ、人ニモ目ユソハフタツモアレ、マナコナイフトキハ

人眼トハカリイヒテ、フタツトモミツトモイハヌナリ、教チマナフ
モノノ、佛眼トイヒ、法眼トイヒ、天眼ナトトイフモ、目ニテアリトハ
ナラハヌナリ、目ノヤウニアラントシレルチハハカナキトイフ、イ
マハタタ佛ノ眼ヒトツニテ盡大地アリケルトキクヘシ、千眼モア
レ、萬眼モアレ、マツシハ、ラク盡大地ガソノナカノヒトツニテアル
トナリ、カクオホカルナカニ、ヒトツソトイフモトガナシ、マダ佛ニ
ハタタマナコハヒトツノミアリトシルモアヤマラス、マナコハサ
マサマアルヘキソカシ、ミツアルモアリ、千眼アルモアリ、八萬四千
アリトイフユトモアレハ、マナコノカクノコトクナリトキキテ、耳
チオトロカサルヘシ、

トハ 人ニ目ハフタツアリトモ、マナコチイフトキハ、一後眼トベカリ
イヒテ、二三トハイハザルナリ、ココチモテ、人ニモ目コソハフタツモア
レ、マナコチイフトキハ、ヒトノ眼トベカリイヒテ、二ツトモ三ツトモイ
ハヌナリトイヘリ、是レハ、眼ノスガタチ、ヒトツオキテミル情謂

チキラハルルナリ、佛眼等ハ、例ニ引クナリ、故ニ目ノ様ニアラントシレ
ルチハ、ハカナキトイフトイヘリ、ハカナシトハ、可憐カナシ盡大地ハ、佛眼ヒト
ツナルガユヘニ、千眼萬眼アルモヒトツナリ、ツノナカハ、マナコノナカ
ナリ、多無罍礙ノユヘニ、オホカルナカニ、ヒトツト云モ、トガナキナリ
佛ハ唯一後眼ナルカユヘニ、佛ニハタタマナコハヒトツノミアリ、ト、シ
ルモアヤマラザルナリ、餘ハシルベシ、

マダ盡大地ハミツカラ法身ナリトキクヘシ、ミツカラチシランコ
トチモトムルハ、イケルモノノサタマレル心ナリ、シカアレトモマ
ナコノミツカラチハミルモノマレナリ、ヒトリ佛ノミコレチシレ
リソノホカノ外道等ハ、イタツラニアラヌチノミワレトオモフナ
リ、佛ノイフミツカラハスナハチ盡大地ニテアルナリ、シカアレハ
ミツカラトシルモシラヌモ、ミナトモニオノレニアラヌ盡大地ハ
ナシコトキノコトハカノトキノ人ニユツルヘシ、
トハ イケルモノハミナズカラナルカユヘニ、ミツカラチシランコ

トチモトムルハ、イクルモノノサダマレル心ナリトイヘリ、イクルモノ
ノミ、ミズカタナルニハアラザレトモ、誓クイクルモノニ約シテ云而已、
所謂、生死去來、眞實人體ナリ、凡夫ハシルモノマレナリ、佛而已シレリ、
マリイハハ、知ルトコレナルト、自ラニアラサルコトナシ、シカルテ外道
ハ、モノヲ揀擇スルチモテ、イタツラナルモノト、イタツラナラザルモノ
トチ分別ス、ソノイタツラニアラヌモノチスグリアクテ我トオモフナ
リ、佛道ノミヅカラハ、盡大地コレナリ、シルモシラヌモ、盡大地ナレハ、揀
擇ハナキナチ、コノトキ、カノトキ、コトト、人ト、ナノノ定性カコレアラ
タダコレ自己ノ廓落ノミ、ユヘニユザルベシトイヘリ、賓主互換ノ宗ヲ
スレザレ、

ムカシ僧アリテ古德ニトフ、百千萬境一時ニキタラントキイカカ
スヘキ、古德イハク、莫管佗、イフココロハキタランコトハサモアラ
ハアレ、トモカクモウコカスヘカラストナリ、ユレスミヤカナル佛
法ニテアリ境ニテハナシ、コノコトハチハ、焔誠トハユココロウヘカ

ラス、諦實ニテアリトユコロウヘシ、イカニモ管スルカトスレハ、管
セラレサリケルナリ、

トハ、ソレガソレナル諦實ニテアレハ、ウゴカスヘカラザルナリ、眞管
佗、ハ、ソレニカマウナ、ナリ、ユヘニスミヤカナル佛法ニテ、境ニハアラズ
トイヘリ、管スルノガ、スナハチ、賊歸ナルガユヘニ、管セラレザルナリ、柏
樹子ノ人ニモ境ニモニテハナキナリ、

フルキ佛ノイハク、山河大地ト諸人トオナシクウマレ、三世ノ諸佛
ト諸人トオナシクオユナヒキタレリ、シカアレハスナハチ一人ウ
マルルチリニ、山河大地チミルニ、ユノ一人カウマレサリツルサキ
ヨリアリケル山河大地ノウヘニ、イマヒトヘカサチテウマレイツ
ルトミエス、シカアレハトテモマタフルキユトハノムナシカルヘ
キニハアラス、イカニカユココロウヘキ、ユココロエラレストテサシオ
クヘキニハアラチハ、カナラスユココロウヘシトオモフヘシ、ステニ
トケルコトハニテアレハキクヘシ、キキテハマタユココロウヘキナ

リ、コレヲココロエンヤウハ、コノウマルル一人カカタヨリコノ生
ヲタツヌルニ、コノ生トイフコトハイカニアルコトト、ハシメテハ
リアキラメケル人ハタレソ、チハリモハシメモシラサレトモ、ウマ
レキタレリ、ソレタタ山河大地ノキハモシラサレトモ、コノチハミ
ルコトコトハフミアリクカコトシ、生ノコトクニアラヌ山河
大地ヨトウラムルオモヒナカレ、山河大地ヲヒトシキワカ生ナリ
トイヘリケリトアキラムヘシ、

トハ一人多人、アトサキ、山河大地トモニ生ノ獨露身ナルヲモテ、カサ
ナルベキ道理ナキナリ」ムマルル一人ノカタトハ、一人ノ生ナリ」コノ生
トイフコトハイカニアルコトト、ハ、八方歌有道之君ノ我他彼此ナシナ
リ」始モ、終モ、誰レモ、彼モ、シルモ、シラザルモ、生ナラザルコトナキガコ
ニ、ソラザレトモ、ムマレキタレリトイヘリ」山河大地ノキハナキカ故ニ、
見處、フミアリクコトコロ、ヒトシク生ナルナリ」山河大地ノ生ナルヲモテ、
生ノコトクニアラヌ山河大地ヨト、ウラムルオモヒナカレトイヘリ」コ

ノユヘニ山河大地ヒトシクワカ生ナリト結スルナリ、
マタ三世諸佛ハ、ステニオコナヒテ道ヲモナリ、サトリモチハレリ、
コノ佛ト我トヒトシトハ、マタイカニカココロウヘキ、マツシハラ
ク佛ノ行ヲココロウヘシ、佛ノ行ハ、盡大地トオナシクオコナヒ、盡
衆生トモニオコナフ、モシ盡一切ニアラヌハ、イマタ佛ノ行ニテハ
ナシ、

トハ生佛トモニ行ナリ、シカアレハ盡大地コレ行ナリ、モシ盡一切ニ
アラヌハ、佛行ニテハナカルベシ、

シカアレハココロヲオコスヨリ、サトリチウルニイタルマテ、カナ
ラス盡大地ト、盡衆生ト、サトリモチオコナヒモスルナリ、コレニイカ
ニカウタカフオモヒモアルヘキニシラレヌオモヒモマシルニニ
タルチアキラメントテ、カクノコトクノコエノキユルモ、人ノヤ
ウトハアヤシマサルヘシ、

トハ始終究盡ノ大道ナルカユヘキ、悟生佛不二ナリ、行古今脱落ナリ、

ナンノウタガヒカアランヤシラレヌオモヒモマザルトハ、一究竟道ニ
オヒテ、別異ニシテシラレヌモノアレバ、コレヲアキラメムトスルナリ、
如^レ是トモガラ、ママンノキコエアルカ故ニ、如^レ是聲聞^ユイヘリ「設使修スル
モ證上ノ修ナルカユヘニ、外ノコトトハ怪^ニ、思^{ベシ}トナリ、故^ニ人ノヤウ
トハ、アヤシマザルベシトイヘリ」人ノヤウトハ、佗ノコトノヤウトイ
ヘルココロナリ、

コレハユコロウルナシヘニテハ、三世ノ諸佛ノユコロナモオコシ、
オコナフハカナラヌワレラカ身心ナハモラサヌコトハリノアル
ナリトシルヘシ、コレナウタカヒオモフハ、ステニ三世ノ諸佛ナソ
シルナリ、シツカニカヘリミレハ、ワレラカ身心ハ、マコトニ三世ノ
諸佛トオナシクオコナヒケル道理アリ、發心シケル道理モアリヌ
ヘクミユルナリ、

トハ、ココロウルオコエトハ、佛敎ハ、ユコロウベキモノナルガユヘニ
イヘリ「佛ノ發心修行ニワレラガ身心ヲモラスベキニアラズ、コレ佛敎

ノ所詮ナレハ、シルベシトナリ」餘文シルベシ、

ユノ身心ノサキノチチカヘリミテラセハ、タツヌヘキ人ノワレニ
アラス人ニアラサランニハ、ナニトトコホルトコロトシテカ、三
世ニハヘタタレリトオモハン、ユノオモヒドモ、シカシナカラワレ
ニアラス、ナニトテカハマタ三世諸佛ノ本心ノ所行道ノトキチハ
サヘントハスヘキ、シハラク道ハ知不知ニハアラヌトハナツクヘ
シ、

トハ、人ノワレニアラズ、トハ、人我ニアラザルナリ「脱落ノ身心ハ、前後
際斷ナルカユヘニ、タゾヌベキ彼此ノ人我ノ人我ニアラザルナリ」ステ
ニ人我ニアラザルニハ、ナニトドコホル所アリテ、三世ニヘタタレリ
トオモハン、三世不可得ナリ」コノヘダタレリトオモヘルオモヒモ、直下
脱落ナリ、ユヘニワレニアラストイヘリ「シカアレバ諸佛所行道ノ時ニ、
ヘダタレル自佗ナキカユヘニ、サエントハスベキトイヘリ、唯佛與佛ノ
究盡ナリ」コノ無罣礙ノ大道ヲ、道ハ知不知ニアラスト、古人モイヘルナ

フルキ人ノイハク、撲落モ佗物ニアラス、縦横コレ論ニアラス、山河
オヨヒ大地、スナハチ全露法王身ナリ、イマノ人モムカシノ人ノイ
ヘルカコトクナラフヘシ、ステニ法王ノ身ニテアリ、シカレハ撲落
モコトナルモノニハアラサリケルトコヨロウル法王アリケル、コ
ノコヨロハ、山ノ地ニアルカコトシ、地ノ山ヲノセテアルニニタリ、
トハ、イマモムカシモ、法生身ナルヲモテ、ムカシノ人ノイヘルカコト
クナラフヘシト云ヘリ「コヨロウル法王身ナリ」山ノ地ニアル、地ノ山ヲ
ノスル、トモニ法王身ナルヘシ「參本イハク、古人、典故、壽禪師也、會元第
十号、此師因、墮薪、而悟入ト」

コヨロウルニコヨロエサリツルナリノキタリテ、コヨロウルナサ
マダケス、マダコヨロウルガコヨロエサリツルナヤ、フルコトモナ
クシテ、シカモコヨロウルトコヨロエヌトノハルノコヨロアキノ
コエアリ、ソレナモコヨロエサリツルハ、聲オホキニシテトキケル、

ソノコエ耳ニイラス、耳コエノナカニアソヒアリキケル、

トハ、コヨロウルト、コヨロエザルト、トモニ法王身ナルガユヘニ、サマ
タケス、ヤアレザルナリ「ハルノコヨロ、アキノコヘトハ、アヒ反スルモノ
ヲヒキヨセテ、サマダゲザルヲ結スルナリ」コヨロヘザルハ、聲オホキニ
シテトケルユヘ、ソノコエ耳ニイラス、耳コエノナカニアソヒアリキテ、
逆ナルカユヘニ、コヨロエザルニハアラサルナリ、

コヨロウルハ、コエステニ耳ニイリテ三昧アラハルルナリニテア
ルヘシ、コノコヨロウルハチヒサク、コヨロエヌハオホキニテアリ
ケルトモオモハサルヘシ、

トハ、コヨロウルハコエ耳ニイタリ順ナルカユヘニ、三昧アラハルル
ナルヘシ、ト、大小得不得ヲオモハザルヘシ「コレ、コヨロウルト、コヨロエ
ザルトテ、コエノ大小ニ約シテ邪解ヲ斥ルナリ、

ワタクシニオモヒエタルコトニハアラチハ、法王ノカクノコトク
ナリケルトシルヘシ、法王ノ身トハ、マナユモ身ノコトクニアリコ

一本法
下無ニ

コロモ身トヒトシカルヘシ、ココロトミト、一毫ノヘタテナク全露
ニテアルヘシ、光明ニモ説法ニモカミニイフカユトクニ法王身ニ
テアリト、ココロウルナリ、

トハ、ワタクシニオモヒエタルコトニアラストハ、ココロウルト、ココ
ロエヌト、トモニワタクシニアラザル公案ナルカユヘニ、法王ノカクノ
コトクナリトシルベシトイヘリ「マナコモ、ココロモ、法王身ナリ、ユヘニ
身ノコトクニアリ、身トヒトシカルヘシ、ト、イヘリ」身心一如ノユヘニ、一
毫ノヘタテナク、光明モ、説法モ、法王身ノ全露ニテアルヘシ、

ムカシヨリイヘルユトアリ、イハユルウチニアラサレハ、ウチノユ
コロチシラス、トリニアラサレハ、鳥ノアトチタツチカタシ、ユノコ
トワリチモヨクシレル人マレナリ、人ノ魚ノココロチシラヌト、人
ノトリノココロチシラヌトノミオモヘルハ、アシクシレリ、コレチ
シルヤウハ、魚ト魚トハカナラスアヒタカヒニソノココロチシル
ナリ、人ノヤウニシラヌコトハナクテ、龍門チサカノホラントオモ

本光云
九浙猶
九淵乎

フニモトモニシラレ、オナシクココロチヒトツニスルナリ、九浙チ
シノクココロモカヨヒシラルナリ、

トハ、コレハ同氣相求、同類相知ノ親切チアカスナリ、タダニ人畜ノ懸
隔トノミオモヘルハ、偏局ノ見ナルカユヘニ、アシクシレリナドイヘリ、
コレ全露法王身ノ隔礙ナキ道理チアカセリ、タダニ隔礙ノ一方ノミチ
トルコトナカレ「人ノヤウニシラヌコトハナクテトハ、參本イハク、無如
人不知、句、謂、非、如、人間、不知、魚、鳥、意、焉、ト同類ハヨクアヒシルチイフ」
トモニシラレ、カヨヒシラルナリ、

コレチウチニアラヌハシルユトナシ、マダ鳥ノ空チトヒヌルチハ、
イカニモユクケタモノハユノアチノアトチシリ、ユノアトチミチ
タツヌルコトハ、夢ニモイマダオモヒユラスサアリトシラチハオ
モヒヨルタメシモナシ、シカアルチ鳥ハヨクチヒサキ鳥ノイク百
千ムラカレスキニケル、コレハオホキナル鳥ノイクツラミナミニ
サリキタニトヒニケルアトヨトカスカスニミルナリ、車ノアトノ

法苑珠林

唯佛與佛

十三

ミチニノユリ、馬ノアトノクサニミユルヨリモカクレナシ、鳥ハ鳥ノアトナミルナリ、

トハ、コレヲトハ、魚ト魚トハタカヒニシルチサスナリ「魚ニアラヌハシルコトナシトイヒ、ソラヲトハ鳥ハケダモノノアトナシトイフ、ト、古語ヲ引テ結スルナリ、シカルニ語ノタラザルヤウニアルハ、古文ノ體ナリ」鳥ノトナチケダモノハシラヌトハ、鳥獸ヲ互ニイフノミ」コノアトナミテケダモノハトイフヨリ、オモヒヨルタメシモナシトイフマテハ、反シテアカスナリ、イハク、同類ニアラサレハ、アトナミチシルコトハウヘカラストナリ、同類ニアラサレハシラストイフトキハ、同類ノシレルコト分明ナリ「サアリハ、シカアリナリ」シカアルニノ下ハ、順ニアヒシルコトチアカスナリ、ソノ義シルヘシ、

ユノコトワリハ佛ニモアリ、佛ノイクヨヨニオユナヒスキニケルヨトオモハレ、チヒサキ佛オホキナル佛、カスニモレヌルカスナカラシルナリ、佛ニアラサルナリハイカニモシラサルコトナリ、イカ

ニシラサルソトイフ人モアリヌヘシ、佛ノマナユニテソノアトチミルヘキカユエニ、佛ニアラヌハ佛ノマナユナヘス、佛ノモノカソフルカスナリ、シラチハスヘテ佛ノミチノアトチハタトリヌヘシ、ユノアト、モシメニミエハ、佛ニテアルヤラント、アシノアトチモタクラフヘシ、タクラフルトコロニ、佛ノアトモシラレ、佛ノアトノ長短モ淺深モシラレ、ワカアトノアキラメルルコトハ、佛ノアトチハカルヨリウルナリ、ユノアトチウルチ佛法トハイフナルヘシ、

トハ、コノコトハリトハ、同類相知ノ道理ナリ、唯佛與佛乃能究盡ナリ、佛ニアラザレハシラサルコトアキラケシ「イカニシラサルソトイフ人ハ、ナニトシテシラザルゾト疑著スルモノナリ」ソノアトハ、佛道ノアトナリ、佛眼モテ佛迹ヲシルカユヘニ、掌中ノ菓チミルガゴトクアキラカナリ、佛眼チンナヘザルモノハ、シルコトアタハザルユヘンナリ「コノ佛眼モテアラストキハ、カズニモレヌル、カズナガラ、ミナコレ佛道ノアト

ナリトシルナリ、アニ數量大小ニワタリテコレヲ、シラフヤ、コレ佛ノモ
 ノカソフルカスナリ「エコヲモテシラヌハスベテ佛ノミチノアトヲハ
 タドリヌベシトイヘリ」マコトニソレ唯佛與佛ナルガエヘニ、コノアト
 モシメニミヘバ、佛ニテアルラソ「シガアレバ今日ノ學人イソギアシノ
 アトヲモダクテアベシ、我脚何似驢脚、我手何似佛手ナリ、コノ法ハ人人
 ノ分上ニユタカニソナハルカエヘニ、修スルニアラハレ、證スルニウル
 ナリ、エコヲモテタクテアルトコロニ、佛ノアトモシラソ、佛ノアトノ長
 短モ淺深モシラルルナリ」ヨロコフベシ、ワガ今ノ身ハ、具縛ノ凡夫ナリ
 トイヘドモ、修證ノ不染汚ナルニハ、早粥午飯ニ佛事ヲナシ、掃地掃牀ニ
 本分事ヲ現成スルナリ、エヘニイフ、ワガアトノアキラメラルルコトハ、
 佛ノアトヲハカルヨリウルナリ、ト、佛壽ノ今ニツタハルルコトハ、精進
 不忘念ニヨルベシ、タレカツトメズシテ、佛道ノアトヲウルモノアラソ、
 世間ノコトニスラ文王既勤止トイヘリ、イハソヤ出世ノ道ニオヒテオ
 ヤ、光陰ムナシクワタラザルトキ、唯佛與佛ナリ、エヘニイフ、コトノアト

ヲウルヲ佛法トハ、イフナルベシト、

正法眼藏唯佛與佛

弘安十一年季春晦日於越州吉田縣志比庄吉祥山永平寺知賓寮
 南軒書寫之

正法眼藏八大人覺
諸佛是大人也。大人之所覺知，所以稱八大人覺也。覺知此法為涅槃，因我。

本師釋迦牟尼佛入涅槃夜，最後之所說也。

一者少欲。於彼未得五欲法中，不廣追求，名為少欲。

佛言：汝等比丘，當知多欲之人，多求利故，苦惱亦多；少欲之人，無求無欲，則無此患。直爾少欲，尚應修習，何況少欲能生諸功德？少欲之人，則無詭曲，以求人意，亦復不為諸根所牽行。少欲者，心則坦然，無所憂畏，觸事有餘，常無不足。有少欲者，則有涅槃，是名少欲。

二者知足。已得法中受取，以限稱曰知足。

佛言：汝等比丘，若欲脫諸苦惱，當觀知足。知足之法，即是富樂安穩之處。知足之人，雖臥地上，猶為安樂；不知足者，雖處天堂，亦不稱意。不知足者，雖富而貧；知足之人，雖貧而富。不知足者，常為五欲所牽，為知足者之所憐愍。是名知足。

三者樂寂靜離諸煩悶、獨處、空閒、名樂寂靜。

佛言汝等比丘欲求寂靜無為安樂當離煩悶獨處閒居靜處之人帝釋諸天所共敬重是故當捨已衆佗衆空閒獨處思滅苦本若樂衆者則受衆惱譬如大樹衆鳥集之則有枯折之患世間縛著沒於衆苦譬如老象溺泥不能自出是名遠離。

四者勤精進於諸善法勤修無間故云。精進精而不雜進而不退。

佛言汝等比丘若勤精進則事無難者是故汝等當勤精進譬如少水常流則能穿石若行者之心數數懈廢譬如鑽火未熱而息雖欲得火火難可得是名精進。

五者不忘念亦名守正念守法不失。名爲正念亦名不忘念。

佛言汝等比丘求善知識求善護助無如不忘念若有不忘念者諸煩惱賊則不能入是故汝等當攝念在心若失念者則失諸功德若念力堅強雖入五欲賊中不爲所害譬如著鎧入陣則無所畏是名不忘念。六者修禪定住法不亂。名曰禪定。

佛言汝等比丘若攝心者心則在定心在定故能知世間生滅法相是故汝等當精進修習諸定若得定者心則不散譬如惜水之家善治堤塘行者亦爾爲智慧水故善修禪定令不漏失是名爲定。七者修智慧起聞思修證爲智慧。

佛言汝等比丘若有智慧則無貪著常自省察不令有失是則於我法中能得解脫若不爾者既非道人又非白衣無所名也實智慧者則是度老病死海堅牢船也亦是無明黑暗大明燈也一切病者之良藥也伐煩惱樹之利斧也是故汝等當以聞思修慧而自增益若人有智慧之照雖是肉眼而明見人也是名智慧。

八者不戲論離分別名不戲論。空盡實相乃不戲論。

佛言汝等比丘若種種戲論其心則亂雖復出家猶未得脫是故比丘當急捨離亂心戲論若汝欲得寂滅樂者唯當善滅戲論之患是名不戲論。コレ八大人覺ナリ一一各具八スナハチ六十四アルヘシヒロクスルトキハ無量ナルヘシ畧スレハ六十四ナリ大師釋尊最後之説

爲大乘之所教誨、二月十五日夜半ノ極唱、コレヨリノチ、サテニ說法
シマシマサス、ツヒニ般涅槃シマシマス、
佛言、汝等比丘、常當一心勤求、出道一切世間動不動法、皆是敗壞不安
之相、汝等且止、勿得復語、時將欲過、我欲滅度、是我最後之所教誨、
ノユエニ如來ノ弟子ハ、カナラスコレヲ習學シタテマツル、コレヲ
修習セスシラサランハ、佛弟子ニアラス、コレ如來ノ正法眼藏涅槃
妙心ナリ、シカアルニイマシラサルモノハ、オホク見聞セルコトア
ルモノハ、スクナキハ、魔燒ニヨリテシラサルナリ、マタ宿殖善根ノ
スクナキ、キカス、ミス、ムカシ正法像法ノアヒタハ、佛弟子ミナコレ
ヲシレリ、修習シ參學シキ、イマハ千比丘ノナカニ一兩箇ノ八大人
覺シレルモノナシ、アハレムヘシ、澆季ノ陵夷、タトフルニモノナシ、
如來ノ正法、イマ大千ニ流布シテ、白法イマタ滅セサラントキ、イソ
キ習學スヘキナリ、緩怠ナルコトナカレ、佛法ニアヒタテマツルコ
ト、無量劫ニモカタシ、人身ヲウルコトモ、マタカタシ、タトヒ人身ヲ

ウクトイヘトモ、三洲ノ人身ヨシ、ソノナカニ南洲ノ人身スクレタ
リ、見佛聞法、出家得道スルユエナリ、如來ノ般涅槃ヨリサキニサキ
タチテ死セルトモカラハ、コノ八大人覺チキカス、ナラハス、イマワ
レラ見聞シタテマツリ、習學シタテマツル、宿殖善根ノチカラナリ、
イマ習學シテ生生ニ增長シ、カナラス無上菩提ニイタリ、衆生ノタ
メニコレヲトカシコト、釋迦牟尼佛ニヒトシクシテ、コトナルコト
ナカラシ、

トハ、文ミナシルベシ、

正法眼藏八大人覺

建長五年正月六日書于永平寺

如今建長七年乙卯解制之前日、令義演書記書寫、畢、同一校之、右本、
先師最後御病中之御草也、仰以前所撰假字正法眼藏等皆書改、竝
新草具都、廬一百卷可撰之、云云、既始草之御此卷當第十二也、此後
御病漸漸重、增、仍御草案等事即止也、所以此御草等

先師最後之教敕也我等不幸而不拜見一百卷之御草尤所恨也若
奉懸慕

先師之人必書此卷而可護持之此

釋尊最後之教敕且

先師最後之遺教也

懷裝記之

トハ 參本イハク此之後序一本無之爲寡類本考訂未完完全考訂伏請
後智ト

明治廿九年三月廿日印刷
明治廿九年四月一日發行

校訂者

西有穆山

靜岡縣駿河國志太郡
島田町傳心寺

印刷兼
發行者

今村金治

東京市芝區露
十八番地

印刷所

秀英舍

東京市京橋區西紺屋
町二十六七番地

發行所

鴻盟社

東京市芝區露月町
十八番地

版權
所有

先師最後之教敕也我等不幸而不拜見一百卷之御草尤所恨也若
奉戀慕

先師之人必書此卷而可護持之此

釋尊最後之教敕且

先師最後之遺教也

懷裝記之

トハ 參本イハク此之後序一本無之爲、寡類本、考訂未完完全考訂、伏請
後智ト

明治廿九年三月廿日印刷
明治廿九年四月一日發行

校訂者

西有穆山

印刷兼
發行者

靜岡縣駿河國志太郡
島田町傳心寺
今村金治

印刷所

秀英舍

發行所

鴻盟社
東京市芝區露月町
十八番地

版權
所有

